

横浜開港150周年記念式典について

横浜開港150周年を多くの市民とともに祝い、日本の近代化を牽引してきた横浜の歴史と先人の業績に感謝するとともに、未来への希望を共有し、さらなる発展への契機とするため、横浜開港150周年記念式典を開催します。

(1) 横浜開港150周年記念式典 開催概要

主催 : 横浜開港150周年記念式典実行委員会
(委員長: 横浜市長、副委員長: 横浜市会議長、横浜商工会議所会頭)

プロデューサー: 宮本亜門

日程 : 2009年5月31日(日)

会場 : パシフィコ横浜 国立大ホール

参加者 : 招待者 約2,000人、公募による市民招待者 2,000人

司会 : 露木茂、山本ミッシェールのぞみ

式次第 :

8:00~ 受付・入場

消防音楽隊によるウェルカム演奏で来場者をお迎え

横浜の開港150年の歴史やオリジナルショーのメイキング等を
紹介するロビー展示

10:20~ プロローグ

記念式典の導入として、横浜の過去・現在から未来への映像を展開し、
開港150周年の歴史的意味を共有する。

様々な横浜ゆかりの方からのお祝いメッセージ

来場者へのインタビューによるコミュニケーションタイム

11:00 開式

セレモニー

式辞

来賓挨拶

市歌斉唱 など

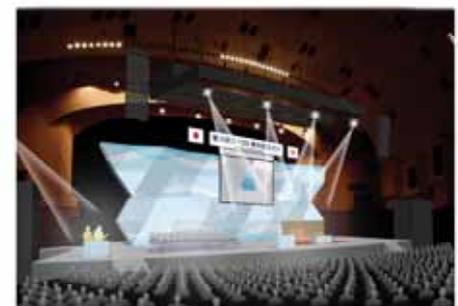
横浜開港150周年記念オリジナルショー

『ヴィジョン! ヨコハマ ~未来へ。そして紡いできたもの~』

作・演出 宮本亜門

横浜開港150年の歴史、現在、未来を
歌やダンスでつづる約40分のショー

(12:35頃 閉会予定)



(2) ご招待の状況について(予定)

	説明	人数
皇室		
登壇者	来賓 / 三権の長、関係省庁大臣、開港5カ国駐日大使、開港4都市市長、姉妹・友好都市の代表等 主催者 / 県知事、商工会議所会頭、市会議長、市長	約30人
招待者	(登壇者以外の) 駐日大使、海外都市市長・議長、米軍関係者、市会・県会・国会議員、自治体首長、国際機関、領事、海外議員団、友好委員会、官公庁、市内国際機関・研究所等の長、審議会等委員、自治会・町内会等、市内各種団体関係者等、経済関連団体・企業等、報道関係等	約1800人
市民招待者 *	市内在住・在勤・在学者 (公募・抽選)	1500人
	市内小学生とその保護者 (公募・抽選)	500人

* 市民招待者の募集結果について

募集数：2,000人

内訳：(市民招待者席：1,500人)

(子ども優先席：250組500人) 小学生と保護者

対象：横浜市内 在住・在勤・在学の方

申込：2009年2月1日(日)～3月13日(金)

往復ハガキにより申込

総応募者数：14,590通26,650人 (約1.3倍)

抽選：2009年4月14日(火)

開港150周年記念式典実行委員会の委員立会いのもと抽選

結果通知：2009年4月23～24日発送

(3) オリジナルショー『ヴィジョン!ヨコハマ』の概要について

オリジナルショーは式典の第2部として上演するほか、より多くの人に観覧いただくため、同日午後に、2回の単独公演を行います。

タイトル 『ヴィジョン!ヨコハマ』～未来へ。そして紡いできたもの～

日時 2009年5月31日(日)

16:30～17:30 / 19:00～20:00 計2回公演

会場 パシフィコ横浜 国立大ホール

客席数 各回約4000席

チケット販売

- ・2009年3月28日より、主要プレイガイド等で前売チケット発売
- ・チケット料金：SS席3,800円、S席2,800円、A席1,000円

作品の概要

作・演出
宮本亜門

タイトル

「ヴィジョン!ヨコハマ」

～未来へ。そして紡いできたもの～

あらすじ

横浜を舞台に展開する、日本と海外の交わり、人々の葛藤や決断。

登場人物たちは、横浜が交流の歴史のなかで育んできた「共存する優しさ、強さ」を受け継ぎ、新たな未来を描きはじめる……。

主な出演者

ナビゲーター：谷原章介、飯島直子

石井正則、草笛光子、五大路子、桜塚やっくん、千住真理子、高田延彦、パッケン

トークゲスト /

佐々木主浩(16:30の回)、眞鍋かをり(19:00の回)

約500人の市民



谷原章介



飯島直子

市民参加

2008年 7月24日～9月30日 オリジナルショーの市民出演者を公募

11月15・16日 オーディション選考

2009年 2月22日～ 稽古を開始